

【緑地を楽しむ本】

『かいつぶり もぐった!』

月刊ちいさなかがくのとも 2025年3月号

神戸宇孝 さく

福音館書店



「あ、カイツブリ！」
「え、どこ？どこ？」カイツブリって、いたと思うと潜って見えなくなってしまう。

この本のカイツブリもそう。「1、2、3・・・」なかなか出てきません。それに、

さっき潜ったところからずっと離れたところに現れたりして。まるで忍者のようですね。

いつ出てくるかな～、どこに出てくるかな～。子どもだけでなく、大人もワクワクしながら見守ってしまいます。長～い間潜ってい

たと思ったら、思いもかけないところから、大きな魚を銜えて飛び出してきましたよ。小さな体で、魚をひとのみ、すごい！

どこの池にもいる、身近な鳥ですが、最近広袴の調整池では見かけないようです。また戻ってきて欲しいですね 孫と一緒にこの本を片手に、いくつ数えるまで潜っているか、あてっこをしてみたいな。

(小川)

※井の頭動物園ではカイツブリの水槽で、水中を泳いでいる姿を見られます。水面に出ている時とは全く違うカイツブリの一面を知ることができますよ。